



認定NPO法人 じゃんけんぽん 8

団体紹介

「人の一生を通して、住み慣れた地域で自分らしく生きる」を応援！



認定NPO法人じゃんけんぽんは、地域に寄り添って、26年。活動開始以来、地域づくりに力を入れ、高齢者とか障がい者とか子どもとか、カテゴリー分けされるものではなく、同じ地域に関わる全ての人を対象に安心して暮らせるために必要なつながりを作る活動に取り組んできました。

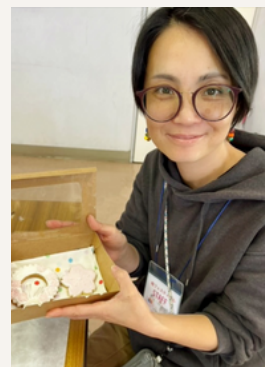
認定NPO法人じゃんけんぽんは、「誰もが、住み慣れた家で、住み慣れた地域で、馴染みの人たちと自分らしく、最後まで生きる」、「あなたがあなたらしく生きること」を応援する法人です。

インタビュー

近隣大家族：介護福祉士 佐塚 顕子さん

“時代に寄り添った、つながりをバトンみたいに継続すること”が大事

居場所づくりに関わっている中で、「そこまで行くのが大変」という声を聞くことがあります。ハコがないと居場所はできないものだろうか？ もちろん『近隣大家族』のように「あそこに行けばいつもある」居場所も大切ですが、必要なときに必要な場所で、つくりたいときにつくりたい場所でレジャーシートを広げる感覚の居場所ができたならどうでしょう。つまり、既存のモノを利用したり、庭先をお借りするなどして、身近な場所を“居場所”に変えるという発想です。例えば、×（かける）子ども食堂、×（かける）学生、×（かける）読み聞かせ、×（かける）エクササイズなど、関わる人の分だけアイデアが生まれ、可能性は無限大に広がる。変化が激しい時代だから、応用がききやすい、変えやすい仕組みにすることで、＝真似しやすい＝広がりやすい＝人の集まれる場が広がれば、孤立する人を一人でも減らせるかも知れません。そして関わる人が主役になれば、自分事としてまたアイデアが生まれ、その人の生きがいにもなり、時代に寄り添ったつながりをバトンみたいに継続していくことができると思います。



主な取り組み

一貫した「孤立・孤独を防ぐ居場所づくり、つながり」の創出

“居場所づくり”というと、ご高齢の方々が対象というイメージが先に立つ方も多いかも知れませんが、「近隣大家族」は、子どもから高齢者まで様々な世代の方が利用しています。夏休みなどは小学生の利用も多く、宿題をしたり、おやつを食べたり、お友達だけではなく居場所に居合わせた大人とも交流して過ごしているほか、近くの児童館や図書館、プールなどを行き来する子どもたちもいることで、地域の社会資源同士が活動の情報を交換するなど、地域の子どもたちを地域で見守ることにもつながっています。居場所づくりを通して、孤立・孤独を防ぐには、誰かと関われるコミュニティの存在が大きいと感じている訳ですが、2020年コロナウィルス感染拡大により、誰かと関わる事が難しい数年がありました。その最中に生まれたのが「つながる農園」です。屋内での活動に不安な方が多いのなら屋外に「みんなが安心できる居場所を、地域の皆さんと一緒に作っていききたい！」そんな想いで始まりました。介護保険サービス事業、居場所カフェ、こども食堂、居住支援に農園まで？！じゃんけんぽんの活動の幅は広いように感じるかも知れません。しかし一貫してそこにあるのは、誰も孤立しない、孤立させないために、そして孤独に陥らないために、今何が必要で、何ができるのかを考え続け、行動し続けたというシンプルなものです。安心して暮らせる地域は、誰かがつくってくれるものではなく、みんなで一緒につくっていくものです。地域の一員として、自分に何ができるのか、一緒に考えていただければ幸いです。



お問合せ等

相談したい。参加したい。協力したい。「認定NPO法人じゃんけんぽん」情報

棟高町の“近隣大家族”を訪問すると、多くのご高齢の方々がおしゃべりしたり、お茶したり、真剣に囲碁をさしたり、子どもたちは、カードゲームや宿題など、めいめいが自分のペースで楽しんでいる様子で“近隣大家族”そのものでアットホームな雰囲気でした。こうした活動にご関心のある個人、団体、企業の皆さんはぜひお問合せください。

詳しくは、認定NPO法人じゃんけんぽんのHPをご覧ください。

